

令和7年度  
第2回一関市博物館協議会  
次 第

日時 令和8年2月12日(木)  
午後2時から  
会場 一関市博物館 研修室

- 1 開会のことば
- 2 挨拶
- 3 協議
  - (1) 令和7年度事業の取り組み状況について
  - (2) 令和8年度事業計画について
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会のことば

令和7年度第2回一関市博物館協議会出席者名簿

■一関市博物館協議会 (任期 令和7年7月1日～令和9年6月30日)

[敬称略]

| No. | 氏名                      | 所属 | 組織区分 | 備考  | 出席        |
|-----|-------------------------|----|------|-----|-----------|
| 1   | かめ や たく<br>亀 谷 琢        |    |      |     | ○         |
| 2   | あお ぬま とおる<br>青 沼 徹      |    |      |     | 欠         |
| 3   | さ とう ただ のぶ<br>佐 藤 禎 信   |    |      |     | 欠         |
| 4   | きん の たか ゆき<br>金 野 敬 之   |    |      |     | 欠         |
| 5   | ち ば のぶ たね<br>千 葉 信 胤    |    |      |     | 欠         |
| 6   | さ の のぶ ひろ<br>佐 野 修 弘    |    |      |     | ○         |
| 7   | ち ば さち こ<br>千 葉 幸 子     |    |      |     | ○         |
| 8   | いさ ご ふみ あき<br>砂 金 文 昭   |    |      | 副会長 | ○         |
| 9   | すが わら まり こ<br>菅 原 真 利 子 |    |      |     | 欠         |
| 10  | くま がい つね まさ<br>熊 谷 常 正  |    |      | 会長  | ○         |
| 11  | たか はし あけみ<br>高 橋 あけみ    |    |      |     | ○<br>リモート |
| 12  | ひら きわ ひろし<br>平 澤 広 史    |    |      |     | 欠         |
| 13  | さ とう ひとし<br>佐 藤 仁 史     |    |      |     | ○         |
| 14  | ち ば じゅん こ<br>千 葉 順 子    |    |      |     | ○         |
| 15  | もり ひで たか<br>森 英 隆       |    |      |     | 欠         |

■一関市教育委員会・一関市博物館

| No. | 氏名                       | 役職名         | 備考 | 出席 |
|-----|--------------------------|-------------|----|----|
| 1   | とき えだ なお き<br>時 枝 直 樹    | 教育長         |    | ○  |
| 2   | きく ち いさ お<br>菊 池 勇 夫     | 博物館長        |    | ○  |
| 3   | さ き き しゅう じ<br>佐々木 修 路   | 博物館次長       |    | ○  |
| 4   | おお ひろ さ おり<br>大 衡 彩 織    | 博物館副館長兼学芸係長 |    | ○  |
| 5   | はし ほん しみ こ<br>橋 本 美 子    | 博物館副館長兼庶務係長 |    | ○  |
| 6   | そ 相 ま み き こ<br>相 馬 美 貴 子 | 博物館主任学芸員    |    | ○  |
| 7   | こ み ひろ ゆき<br>小 味 浩 之     | 博物館主任学芸員    |    | ○  |
| 8   | い の たつ や<br>椎 野 達 也      | 博物館学芸員      |    | ○  |

令和 7 年度

# 事業の取り組み状況

## 目 次

|      |                  |    |
|------|------------------|----|
| I    | 展示活動             |    |
| 1    | 常設展示             | 1  |
| 2    | 特別展              | 1  |
| 3    | 企画展              | 3  |
| II   | 教育普及（交流連携）活動     |    |
| 1    | 講座               | 6  |
| 2    | 体験学習             | 9  |
| 3    | その他の教育普及（交流連携）活動 | 10 |
| III  | 資料収集・保存・貸与・管理等   | 10 |
| IV   | 調査研究活動           | 12 |
| V    | 大槻家資料保存活用事業      | 13 |
| VI   | 広報活動             | 13 |
| VII  | その他              | 14 |
| VIII | 講師派遣等状況          | 15 |

# 令和7年度事業の取り組み状況

## I 展示活動

### 1 常設展示

#### 常設展示室

##### 【目 的】

- (1) 地域の歴史と文化を多様な資料により系統的に展示し、広く生涯学習の推進・充実に寄与する。

##### 【内 容】

- (1) 「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」「玄沢と蘭学」「文彦と言海」「一関と和算」の5テーマおよび昔の道具の展示。研究成果に基づき、随時展示替えを行う。
- (2) 長沼守敬に関する展示  
明治時代から大正時代にかけて活躍した一関出身の彫刻家 長沼守敬を顕彰するための展示。エントランスホールにパネルを展示（通年）。
- (3) 骨寺村荘園900年記念特別展示 2月6日(金)～3月29日(日)

### 2 特別展

#### 特別展「千葉胤秀生誕250年記念 算額の世界」

##### 【趣 旨】

一関藩の算術師範役・千葉胤秀やその門人らにより、一関市内には、全国一を誇る算額(数学絵馬)が残っています。各地の算額を紹介するとともに、数学模型など和算に関連した資料を交えて、江戸時代の数学の世界を紹介します。

本展では、現存する各地の算額を紹介するとともに、数学模型など和算に関連した資料を交えて、江戸時代の数学の世界を俯瞰します。

【開催期間】 令和7年9月13日(土)～11月16日(日)

【開催日数】 56日間

【入館者数】 2,737人(48.9人/日)

## 【展示概要】

### 展示構成

- I 算額を奉納した和算家たち
- II 算額の数々
- III 記録された算額
- IV 算術の道具
- V 算額を受け継ぐ

## 【関連行事】

### (1) 講演会

「奇跡の邂逅（かいこう）から生まれた小説  
～千葉胤秀が江戸の数学道場に入るきっかけとなった山口和との出会い～」

講師： XXXXXXXXXX

日時： 10月5日（日） 13：00～16：30

参加者： 39名

### (2) シンポジウム

「和算と数学の世界」

日時： 10月12日（日） 13：00～16：30

記念講演「文化史から見た和算」 上野健爾氏（京都大学名誉教授）

報告① 「関孝和と関流の和算」 佐藤賢一氏（電気通信大学教授）

報告② 「関流和算の集大成『算法新書』」

菅原 通氏（岩手県和算研究会会長）

参加者： 61名

### (3) 演奏会

「歯車music音楽と数学の不思議な関係」

日時： 11月15日（土） 13：30～15：00

演奏者： XXXXXXXXXX

参加者： 67名

### (4) 算額見学会

日時： 10月13日（月・祝） 9：00～16：00 博物館集合・解散

参加者： 16名

### (5) 展示解説会

日時： 9月21日（日） 13：30～14：10 9人

10月5日（日） 15：10～16：00 21人

11月2日（日） 13：30～14：10 15人

11月16日（日） 13：30～14：10 12人

合計 57人

(6) 館長講座

「藩の学校・養賢堂と教成館」 菊池勇夫（当館館長）

日 時：9月28日（日）13:30～15:00

参加者：21名

### 3 企画展

#### 企画展1「暮らしのなかの道具」

##### 【目 的】

一関周辺で使われたむかしの道具について紹介します。

【開催期間】 令和7年1月25日（土）～5月18日（日）※令和6年度からの継続開催

【開催日数】 98日間（令和7年度分は42日間）

【入館者数】 3,315人（33.8人/日）（令和7年度分は1,687人、40.2人/日）

##### 【展示概要】

- ・導入（昭和のレコード、ホーロー看板、デパート広告）
- ・昭和の生活道具（炊事、洗濯、ラジオ、テレビ、バリカン、カメラなど）自由導線
- ・ある日の六畳間（ちゃぶ台、茶箆筒、白黒テレビなどを配置し、六畳間を再現）

展示資料数 約161点

##### 【関連行事】

###### (1) 展示解説会

日時および参加者（令和7年度分）

|            |             |     |       |
|------------|-------------|-----|-------|
| 4月29日（火・祝） | 13:30～14:10 | 9人  |       |
| 5月4日（日・祝）  | 13:30～14:10 | 8人  |       |
| 5月5日（月・祝）  | 13:30～14:10 | 11人 |       |
| 5月11日（日）   | 15:10～15:50 | 1人  |       |
| 5月17日（土）   | 13:30～14:10 | 5人  |       |
| 5月18日（日）   | 13:30～14:10 | 12人 | 計 46人 |

解 説：当館学芸員

###### (2) 館長講座 「餅の文化史」

講師：菊池勇夫（当館館長）

日時：5月11日（日）13:30～15:00 11人

## 企画展2「〇こけし店主Y氏の愛した昭和のこけしコレクション」

### 【目 的】

市内で営まれていたこけし店の店主が心を寄せ、子息が収集した「伝統こけし」。寄贈を受けた約400点を初公開します。

【開催期間】 6月21日（土）～8月17日（日）

【開催日数】 50日間

【入館者数】 2,697人（53.9人／日）

### 【展示概要】

#### 展示構成（自由動線）

- ・ こけしについての基礎知識
- ・ 東北地方の伝統こけし12系統
- ・ こけし（活動した県で工人を分類）
- ・ いずめ・えじこ
- ・ 一関ゆかりのこけし工人
- ・ 「東北こけしコンクール」新聞記事
- ・ 「東北こけしコンクール」記録映像および関連資料

### 【関連行事】

#### (1) 講演と対談 楽しみのこけし

講 師： XXXXXXXXXX

日 時：6月2日（日） 13：30～15：00

参加者：20名

#### (2) 展示解説会

日 時：7月6日（日） 13：30～14：10 21人

8月3日（日） 13：30～14：10 21人 合計 42人

#### (3) 館長講座 「旅人のみた一関・山目 ―他者の観察眼―」

講 師：菊池勇夫（当館館長）

日 時：7月20日（日） 13：30～15：00

参加者：26名

#### (4) 博物館でアートを楽しむ「こけし絵」をかいてみよう

講 師：いわい美術振興協会

日 時：8月2日（土） 午前の部9：00～12：00

午後の部13：00～16：00

参加者：17名（小学4年生以上）

### 企画展3「村の学びと楽しみ 一本寺肝入の蔵書から」

#### 【目 的】

村の肝入の家では、教養書から実用書まで、さまざまな種類の本を集めて、生活に活かしていました。それらの蔵書は村の内外に貸し出され知識が広まりました。一関市巖美町本寺の肝入の家に伝えられた書籍類から、村の文化と教養を探ります。

【開催期間】 1月24日（土）～3月22日（日）

【開催日数】 50日間

【入館者数】

【展示概要】

#### 展示構成

- I 五串村端郷と肝入
- II 村の学び（手習、漢籍、和算、医学、天気）
- III 村の楽しみ（料理、小笠原流、お出かけ、謡本、生け花、その他）
- IV 蔵書をめぐる村の交流

#### 【関連行事】

- (1) 講演会 「近世・近代本寺の書籍と文化」  
講 師：竹原万雄氏（尚綱学院大学准教授）  
日 時：2月22日（日） 13：30～15：00  
定 員：100名
- (2) 展示解説会  
日 時：2月1日（日） 13：30～14：10  
2月22日（日） 15：10～16：00  
3月15日（日） 15：10～16：00
- (3) 館長講座「地域社会の文化力」  
講 師：菊池勇夫（当館館長）  
日 時：3月15日（日） 13：30～15：00  
定 員：50名

## II 教育普及（交流連携）活動

### 1 講座

#### (1) 館長講座（再掲）

##### 【目 的】

当地域に関わる館長の研究の一端をわかりやすく紹介する。開催中の展覧会に合わせたテーマを設定し、展示への関心を高める講座。

##### 【内 容 等】

##### ① 「餅の文化史」

日 時：5月11日（日） 13：30～15：00

参加者：11名

##### ② 「旅人のみた一関・山目 ー他者の観察眼ー」

日 時：7月20日（日） 13：30～15：00

参加者：26名

##### ③ 「藩の学校・養賢堂と教成館」

日 時：9月28日（日） 13：30～15：00

参加者：21名

##### ④ 「地域社会の文化力」

日 時：3月15日（日） 13：30～15：00

【対象・定員】 各回一般50人

#### (2) 超初心者のための絵の見方

##### 【目 的】

美術に関心はあっても「知識がないから楽しめないような気がする」「美術館や博物館に行きたいが気後れする」という鑑賞初心者に、作品鑑賞の楽しさを伝える。

##### 【内 容 等】

学芸員と一緒に館蔵作品を見て楽しむ。定員は各回10人程度。

講師：当館学芸員

日時および参加者数

日本画・洋画編 7月19日（日） 10：30～11：30 15人

版画編 8月16日（日） 10：30～11：30 7人

(3) 古文書初心者講座

【目 的】

はじめて古文書を学ぶ人を対象に、江戸時代の古文書を教材としてくずし字や古文書の基礎知識を学ぶ連続講座。

【内 容 等】

日 時：7月20日・8月24日・9月28日（いずれも日曜日）10：30～12：00

講 師：菊池勇夫（当館館長）

参加者：延べ42人

(4) 古文書講座

【目 的】

当館所蔵の古文書を解説して、江戸時代の古文書の解説の仕方や、そこからわかる歴史について学ぶ連続講座。

【内 容 等】

日 時：10月4日・10月18日・11月1日（いずれも土曜日）13：30～15：00

講 師：当館学芸員

参加者：延べ38人

(5) 和算講座 入門編

【目 的】

和算の基本や歴史についてわかりやすく解説する講座。

【講座内容】

① 「生誕 250 年千葉胤秀」

日 時：7月26日（土） 13：30～15：00

講 師：当館学芸員

参加者：13人

② 「和算書のベストセラー『塵劫記』と岩手」

日 時：8月9日（土） 13：30～15：00

講 師：菅原 通氏（岩手県和算研究会会長）

参加者：12人

③ 「和算書の読み方」

日 時：8月23日（土） 13：30～15：00

講 師：[REDACTED]

参加者：13人

【参加延人数】38人

(6) 和算講座 研究編

【目 的】

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学ぶ連続講座。

【内 容 等】

日 時：5月17日、6月14日、7月26日、8月23日、9月20日、11月1日

(いずれも土曜日) 10:30~12:00

講 師：岩手県和算研究会

【参加延人数】 56人

(7) 紙の文化史 入門編

【目 的】

和紙や洋紙など身のまわりにある紙について、科学的な特徴や歴史を解説する連続講座。

【内 容 等】

① 紙とは何か

日 時：6月29日(日) 10:30~12:00 3人

② 和紙と洋紙

日 時：7月13日(日) 10:30~12:00 4人

講 師：当館学芸員

【参加延人数】 7人

(8) 重要文化財「大槻家関係資料」研究報告会 「言葉と辞書」

【目 的】

国の重要文化財に指定された当館所蔵「大槻家関係資料」並びに学問の家大槻家に関する最新の研究成果を報告する。

7年度は、「言葉と辞書」をテーマとする。

【内 容 等】

日時：11月3日(日・文化の日) 13:00~16:00

講演：「蘭学から日本語学へ、継承と変革 大槻家と日本辞書『言海』」

講師：田鍋桂子氏(明海大学准教授)

当館職員による研究報告

① 「辞書作りの日常—文彦おじいちゃんの場合—」 講師：当館職員

② 「翻訳語と大槻玄沢」 講師：当館職員

【参加者】 26人

## 2 体験学習

### (1) はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。

#### 【目 的】

気軽に楽しめる体験やパズル、簡単な工作を通して、歴史や当館の展示に親しむ。

#### 【内容等】

##### ① こどもくらぶスペシャル

日 時：5月4日（日・祝）・5月5日（月・祝）、10：00～15：00 随時受付

参加延人数：87人

##### ② 江戸時代のうつつし絵をつくろう

日 時：8月10日（日） ①10：00～10：30 ②11：00～11：30

③13：30～14：00 ④14：30～15：00

参加延べ人数：15人

### (2) 博物館でアートを楽しむ「こけし絵」をかいてみよう（再掲）

#### 【目 的】

市民に対し多様な美術体験の機会を提供し博物館に親しんでもらう。市内の美術団体との交流を図り、協力関係を築く。

#### 【内容等】

いわい美術振興協会会員を講師として迎え、美術を楽しむ活動を展開。

いわい美術振興協会との共催。

企画展「Oこけし店主Y氏の愛した昭和のこけしコレクション」に関連した催し。

講 師：いわい美術振興協会、当館学芸員

日時および参加者：8月2日（土）

午前の部 9：00～12：00 6人

午後の部 13：00～16：00 11人

【参加者】 17人（小学4年生以上）

### (3) 第24回 和算に挑戦

#### 【目 的】

和算の問題を解くことで和算について理解を深めてもらう。

#### 【内容等】

算額や和算書の中から初級、中級、上級の3段階で問題を提示し、解法を募る。

実際に問題を解くことにより、和算のレベルを体感するとともに、難問に挑戦した

和算家の心情を迫体験してもらおう。岩手県和算研究会と共催。

日時：12月1日（月）から1月20日（火）まで解答を募集。

表彰式：3月8日（日）13:30～15:00

【対象・定員】 特に限定しない

【参加者】 495人

### 3 その他の教育普及（交流連携）活動

(1) 古文書整理ボランティア

古文書整理ボランティアに古文書整理作業を行っていただいた。（隔週水曜日）

(2) ことばの先人授業

市教育委員会で実施している「ことばの先人」授業を小学校2校で実施した。

(3) こいこい博物館

まちづくり推進課の「元気な地域づくり事業」を利用し、小学生の親子を対象に、「清庵の里」から食べられる野草について学び、巖美地区の老人クラブ「長生会」と池清掃を行いながら鯉の観察を行った。

(4) 職場体験学習

巖美中学校2年生2名の受け入れを行った。

## Ⅲ 資料収集・保存・貸与・管理等

(1) 資料の受け入れ（寄贈・寄託）

① 寄贈（以下、寄贈者別に資料名と点数を記載）

こけし 6本

西磐井之内猪岡五串村新田御検地野帳 ほか 1式、

飛行服 1式、短刀 1口、わきざし 1口、掛軸 1幅

賞状 1点

掛幅 1点（佐藤紫煙）

短冊 1点

② 寄託

印籠 1点

(2) 資料の修復

① 刀剣等の修復

研磨：脇指 山城守藤原国包、短剣 藤原国包、  
薙刀 切付銘一 宝寿(岐阜82995号)

白鞘作成：薙刀 切付銘一 宝寿(岐阜82995号)

② 絵画等の修復

油彩画 1点(白石隆一)、日本画下図 15点(滝和亭)

③ 古文書等の修復

田村家文芸：六歌仙 1巻、古今和歌集 1冊、  
徳源院様御訓状 1巻

(3) 他館の展示への資料の貸し出し

岩手県立博物館 貞享暦ほか4点

仙台市博物館 田村家系図ほか11点

東北歴史博物館・東北放送(株) 動物形土製品(コノハズク)

奥州市立高野長英記念館 民間備荒録ほか2点

えさし郷土文化館 北海道白老郡支配被仰付御沙汰書

芦東山記念館 奉参詣諸国神社仏閣三ほか7点

(4) 環境調査

第1回 令和7年9月12日～9月30日

第2回 令和8年1月6日～1月20日

(5) 施設燻蒸

令和7年12月11日～12月17日 第1収蔵庫、第2収蔵庫、前室を実施

## IV 調査研究活動

### (1) テーマ

| 調査研究テーマ    | 個別研究名称   |
|------------|--|
| 地域の歴史研究    | (1) 古代・中世の東北地方に関する研究<br>(2) 中世から近世にかけての葛西氏の動向<br>(3) 石造物の研究<br>(4) 藩制の研究 |
| 舞草刀・奥州刀の研究 | 舞草刀・奥州刀の基礎的研究  |
| 大槻玄沢と蘭学の研究 | 在村蘭学者の資料研究   |
| 大槻文彦と言海の研究 | 幕末明治期における大槻家   |
| 一関と和算の研究   | 一関地方の和算関係資料の調査   |
| 地域の美術工芸の研究 | 一関ゆかりの作家たち   |
| 博物館研究      | 博物館における展示および教育普及活動等の研究   |

### (2) 一関市博物館研究報告（研究紀要）の発行

第29号の発刊 A4判

### (3) 骨寺村荘園遺跡村落調査研究

骨寺村荘園遺跡を核とした伝統的な村落の姿を多角的な視点から調査研究し、成果を蓄積する。

#### ① 骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会

日時：2月15日(日) 13:30～15:30

報告者：村落調査研究事業調査研究協力者および当館職員

定員：50人

### (4) 古文書等資料調査

古文書未整理資料の整理、目録のデータベース化。

美術資料の写真撮影、整理、調査カードの作成、データベース化、作家およびその周辺の文献調査等。

### (5) 共同研究

国文学研究資料館共同研究（令和6～8年度）

テーマ「一関藩田村家を中心とした近世前期公武文化圏に関する地域連携的研究」

## V 大槻家資料保存活用事業

令和5年に重要文化財に指定された大槻家関係資料について、修復、研究、公開を計画的に実施するもの。

(1) 修復（文化庁の補助金を受けて実施）

塵積成山 第二冊 丁酉集貫之号 1冊

松平齊民扁額（鴻漸斎） 1面

(2) 研究報告会の開催（再掲）

日 時：11月3日（日・文化の日）13:00～16:00

講 演：「蘭学から日本語学へ、継承と変革 大槻家と日本辞書『言海』」

講 師：田鍋桂子氏（明海大学准教授）

当館職員による研究報告

① 「辞書作りの日常－文彦おじいちゃんの場合－」 講師：当館職員

② 「翻訳語と大槻玄沢」 講師：当館職員

参加者：26人

## VI 広報活動

- ・ 年間行事案内の配布（年度当初）
- ・ 市広報「博物館だより」コーナーによる情報の発信
- ・ 一関市博物館ホームページの随時更新による最新情報の提供
- ・ 一関市ホームページ「イベントカレンダー」による情報の提供
- ・ 各報道機関へのプレスリリース等
- ・ 図書館のモニターやイオンスーパーセンターのデジタルサイネージを利用した情報発信
- ・ 市公式フェイスブックによる情報発信
- ・ 各種情報誌への掲載

## Ⅶ その他

- ・ スマートフォン等のアプリケーションを利用した展示ガイドの多言語化
- ・ 岩手県政150周年パネル展 6月25日(水)～7月23日(水)  
主催 岩手県(岩手県政150周年記念事業実行委員会)

## Ⅷ 講師派遣等状況

(令和8年1月31日現在)

### (1) 来館対応

#### ① 展示解説等 (学校関係)

| No. | 月  | 日  | 学 校 名     | 人数  |
|-----|----|----|-----------|-----|
| 1   | 6  | 15 | 不来方高校 2年生 | 15  |
| 2   | 6  | 18 | 山目小学校 6年生 | 105 |
| 3   | 7  | 2  | 中里小学校 6年生 | 13  |
| 4   | 7  | 17 | 中里小学校 6年生 | 34  |
| 5   | 8  | 27 | 山目小学校 6年生 | 77  |
| 6   | 9  | 12 | 滝沢小学校 6年生 | 21  |
| 7   | 11 | 19 | 尚綱学院大学    | 15  |
| 8   | 1  | 23 | 舞川小学校 3年生 | 15  |
| 合計  |    |    |           | 295 |

#### ② 展示解説等 (各種団体)

| No. | 月 | 日  | 団体名等                | 人数 |
|-----|---|----|---------------------|----|
| 1   | 4 | 4  | 一関市新採用職員研修          | 44 |
| 2   | 4 | 18 | 狐禅寺探検隊 (狐禅寺市民センター)  | 15 |
| 3   | 4 | 30 | 一関市教育委員会新採用職員研修     | 23 |
| 4   | 5 | 9  | 萩荘ふるさと大学 (萩荘市民センター) | 29 |
| 5   | 5 | 15 | 厳美人生大学 (厳美市民センター)   | 18 |
| 6   | 6 | 10 | 北上市相去地区交流センター       | 31 |
| 7   | 6 | 20 | 花巻市高齢者学級まなび学園       | 16 |
| 8   | 6 | 25 | 花巻市高齢者学級まなび学園       | 20 |
| 9   | 6 | 27 | 仙台市八幡地区社会福祉協議会福祉員研修 | 22 |
| 10  | 6 | 29 | 室根市民センター            | 20 |
| 11  | 7 | 3  | 萩荘ふるさと大学 (萩荘市民センター) | 21 |
| 12  | 7 | 24 | 厳美人生大学 (厳美市民センター)   | 12 |

| No. | 月  | 日  | 事業名                      | 人数  |
|-----|----|----|--------------------------|-----|
| 13  | 7  | 25 | 博物館協議会委員                 | 12  |
| 14  | 8  | 8  | 巖美第3区元いきいき教室             | 14  |
| 15  | 8  | 24 | 一関をまるごと応援し隊              | 14  |
| 16  | 9  | 9  | 千厩里山塾（千厩市民センター）          | 17  |
| 17  | 9  | 12 | 台湾関係・地方創生特派員学習ツアー        | 22  |
| 18  | 9  | 19 | 千厩高校教員レクレーション            | 18  |
| 19  | 9  | 19 | (社)全国公立文化施設協会東北支部業務管理研究会 | 30  |
| 20  | 10 | 2  | 一関市保健推進委員一関支部            | 47  |
| 21  | 10 | 7  | 千厩新町長生会                  | 14  |
| 22  | 10 | 15 | 萩荘ふるさと大学（萩荘市民センター）       | 18  |
| 23  | 10 | 21 | 花泉町先人顕彰会                 | 20  |
| 24  | 10 | 23 | 巖美人生大学（巖美市民センター）         | 9   |
| 25  | 11 | 5  | 岩沼市区長会様                  | 44  |
| 26  | 11 | 6  | 前沢地区連合振興会                | 17  |
| 27  | 11 | 16 | 三春町狐田稲荷神社                | 13  |
| 28  | 1  | 29 | 巖美人生大学（巖美市民センター）         | 3   |
| 合計  |    |    |                          | 583 |

## (2) 講師派遣

### ① ことばの先人講師（出前授業）

| No. | 月 | 日  | 対象        | 内容        | 人数  |
|-----|---|----|-----------|-----------|-----|
| 1   | 1 | 27 | 南小学校 5年生  | 大槻文彦・大槻玄沢 | 55  |
| 2   | 1 | 28 | 赤荻小学校 6年生 | 大槻文彦      | 50  |
| 合計  |   |    |           |           | 105 |

### ② 講師派遣（各種団体）

| No. | 月 | 日  | 事業名        | 人数 |
|-----|---|----|------------|----|
| 1   | 6 | 18 | 花泉町先人顕彰会講演 | 50 |

| No. | 月  | 日 | 事業名                        | 人数 |
|-----|----|---|----------------------------|----|
| 2   | 11 | 2 | 老松市民センター先人顕彰事業             | 30 |
| 3   | 11 | 8 | 岩手大学リカレント教育プログラム「地域の文化的基盤」 | 6  |
| 合計  |    |   |                            | 86 |

(3) 参考：学校等自由見学

| No. | 月  | 日  | 事業名等          | 人数  |
|-----|----|----|---------------|-----|
| 1   | 5  | 30 | 聖ウルスラ学院英智中学校  | 16  |
| 2   | 7  | 10 | 千厩高校          | 6   |
| 3   | 8  | 26 | 東北学院大学        | 8   |
| 4   | 8  | 27 | 平泉町適応支援教室カラフル | 3   |
| 5   | 9  | 5  | 東北芸術工科大学      | 7   |
| 6   | 9  | 18 | 室根小学校 3年生     | 30  |
| 7   | 10 | 24 | 多賀城市立東豊中学校    | 67  |
| 8   | 11 | 12 | 磐井中学校 1年生     | 6   |
| 9   | 11 | 14 | 舞川小学校 6年生     | 14  |
| 10  | 11 | 15 | 宮城県立 岩ヶ崎高等学校  | 11  |
| 11  | 1  | 28 | 赤荻小学校 3年生     | 36  |
| 合計  |    |    |               | 204 |

(4) 参考：講座・体験学習・その他の交流連携事業の合計

| 講座  | 体験学習 | その他   | 合計    |
|-----|------|-------|-------|
| 229 | 614  | 1,056 | 1,899 |

協議 2

# 令和 8 年度 事業計画

一関市博物館

## 目 次

|     |                  |   |
|-----|------------------|---|
| I   | 特別展・企画展等         |   |
| 1   | 特別展              | 1 |
| 2   | 企画展等             | 1 |
| II  | 教育普及（交流連携）活動     |   |
| 1   | 講座               | 2 |
| 2   | 体験学習             | 4 |
| 3   | その他の教育普及（交流連携）活動 | 4 |
| III | 資料収集・保存・貸与・管理等   | 5 |
| IV  | 調査研究活動           | 5 |
| V   | 大槻家資料保存活用事業      | 6 |
| VI  | 広報活動             | 6 |
| VII | その他              | 7 |

## 令和8年度事業計画（記載内容はいずれも予定）

### I 特別展・企画展等

#### 1 特別展 「武家のみやびー初代一関藩主田村建頭と和歌ー」

##### (1) 趣旨

初代一関藩主田村建頭（1656-1678）は、能、絵画、書、和歌、箏、などの文芸にも通じた、好学の藩主と後世に伝えられています。将軍徳川綱吉による文治政治のもと、仙台藩という外様大名の分家大名でありながら奥詰となり譜代列に加えられ、演奏番を長く勤めるといふ異例の出世を遂げています。これには、公家との交際によって育まれた和歌に対する造詣や人脈が評価され、幕閣の中で存在感を高めていったことが大きな要因であるとされています。元禄期の大名と公家社会との関わり、公家文化の地方への移入とその広がりや和歌を中心に紹介します。

令和6年度より実施している国文学研究資料館共同研究「一関藩田村家を中心とした近世前期公武文化圏に関する地域連携的研究」の成果によるものです。

##### (2) 会期

令和8年9月19日（土）～11月23日（月・祝）

##### (3) 展示構成案

- I 初代一関藩主田村建頭
- II 歌道の師・岡本宗好と同門・狩野常信（・清水宗川・堀田一輝）
- III 公家とのつながり
- IV 霊元天皇の勅点を受く
- V 建頭の作品
- VI 受け継がれた京との縁

##### (4) 関連行事

- ・一関田村家セミナー
- ・講座
- ・ギャラリートーク

#### 2 企画展等（各展覧会とも仮題、会期は予定）

- (1) 「Museum Birdー資料の中の鳥とりどりー」 4月下旬～6月初旬
- (2) 「熊野信仰と一関 ー海からやってきた神様ー」 7月上旬～8月下旬

- (3) 「佐藤紫煙と知られざる泰斗 滝和亭 ～日本画家二人の下絵～」

1月下旬～3月下旬

いずれも、講演会や展示解説会などの関連行事を予定。

### 3 長沼守敬に関する展示

明治時代から大正時代にかけて活躍した一関出身の彫刻家 長沼守敬を顕彰するための展示。エントランスホールにパネルを展示（通年）。

## II 教育普及（交流連携）活動

### 1 講座

- (1) 館長講座

当館館長による講座。

日時：未定

定員：50人

- (2) 古文書初心者講座（連続講座）

当館所蔵の古文書を題材として、江戸時代の古文書についての初歩を学ぶ。

日時：年間4回程度

定員：24人

- (3) 古文書講座（連続講座）

当館所蔵の古文書を題材として、江戸時代の古文書の解読の仕方や、そこからわかる歴史について学び、身近な史料や歴史について、関心を高める。

日時：年間4回程度

定員：24人

- (4) 和算講座 入門編

江戸時代に発達した日本独自の数学「和算」について、その歴史や特徴、初歩的な知識を解説。岩手県和算研究会と共催。

日時：年間3回程度

定員：各回24人

講師：岩手県和算研究会会員

(5) 和算講座 研究編 (連続講座)

一関の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』の解説を通して和算を学ぶ。平成29年度から継続。岩手県和算研究会と共催。

日時：4月～12月 各月1回

定員：24人

講師：岩手県和算研究会会員

(6) 超初心者のための絵の見方

美術に関心はあっても「知識がないから楽しめないような気がする」「美術館や博物館に行きたいが気後れする」という鑑賞初心者には、作品鑑賞の楽しさを伝える。

学芸員と一緒に館蔵作品を見て楽しむ。

日時：2回程度

定員：10人程度

(7) 講座「紙の文化史 - 入門編 -」

和紙や身のまわりにある用紙について、紙の科学的な特徴や歴史についての基礎講座。

日時：年間2回 程度

定員：30人

(8) 講座「山口和の道中日記を読む - 東北編 -」

千葉胤秀と親交をもった遊歴和算家山口和。山口和の道中日記の中から東北を旅した記録を読む講座です。

日時：3回程度

定員：30人

(9) 講座「絵画資料からみる熊野信仰」

絵画資料から熊野信仰について知る初心者向けの講座です。

日時：年間2回程度

定員：30人

## 2 体験学習

(1) はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。

内容を変えて3回程度

日時：小学校の休業日

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

講師：当館学芸員ほか

(2) 博物館でアートを楽しむ

美術を楽しむ活動を行う。いわい美術振興協会との共催。

日時：土曜または日曜日

対象：小学3年生以上

講師：いわい美術振興協会、当館学芸員

(3) 第25回 和算に挑戦

算額や和算書の中から初級、中級、上級の3段階で問題を提示し、解法を募る。

実際に問題を解くことにより、和算のレベルを体感するとともに、難問に挑戦した和算家の心情を追体験してもらう。

令和8年度は25回目となる。当館特有の事業として全国的にも注目されている。岩手県和算研究会と共催。

期間：12月1日から1月20日まで解答募集

表彰式を3月上旬に開催

対象：特に限定しない

## 3 その他の教育普及（交流連携）活動

(1) 古文書整理ボランティア

(2) ことばの先人授業

(3) 地域との連携事業

(4) 博物館実習

夏季に7日間。3人を受け入れ予定。

### Ⅲ 資料収集・保存・貸与・管理等

#### 1 資料の受け入れ(寄贈・寄託)

#### 2 資料の修復

- ・刀剣等の修復
- ・絵画等の修復
- ・古文書等の修復

#### 3 他館の展示への資料の貸出

- ・巡回展「世界遺産 縄文」 令和7年6月～令和8年3月  
会 場：東北歴史博物館、京都文化博物館、群馬県立歴史博物館  
貸出資料：動物型土製品（コノハズク） 1点  
骨角製品（ヘアピン） 1点 ※文化財課所管、当館保管  
動物型骨角製品（カエル） 1点 ※文化財課所管、当館保管

#### 4 環境調査

年度中2回実施予定。

#### 5 施設燻蒸

12月頃に実施予定。

### Ⅳ 調査研究活動

#### 1 テーマ

| 調査研究テーマ    | 個別研究名称                |
|------------|-----------------------|
| 地域の歴史研究    | 一関市を中心とする地域の歴史に関する研究  |
| 舞草刀・奥州刀の研究 | 舞草刀・奥州刀の基礎的研究         |
| 大槻玄沢と蘭学の研究 | 在村蘭学者の資料研究            |
| 大槻文彦と言海の研究 | 幕末明治期における大槻家          |
| 一関と和算の研究   | 一関地方の和算関係資料の調査        |
| 地域の美術工芸の研究 | 一関ゆかりの作家たち            |
| 博物館研究      | 博物館における展示及び教育普及活動等の研究 |

## 2 一関市博物館研究報告（研究紀要）の発行

第30号の発刊 A4判

## 3 骨寺村荘園遺跡村落調査研究

骨寺村荘園遺跡を核とした伝統的な村落の姿を多角的な視点から調査研究し、成果を蓄積する。

### ① (仮称) 骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会

日時：12～3月の間、1回

講師：村落調査研究事業研究協力者等

定員：50人

## 4 古文書等資料調査

古文書未整理資料の整理、目録のデータベース化。

美術資料の写真撮影、整理、調査カードの作成、データベース化、作家及びその周辺の文献調査等。

## 5 共同研究

国文学研究資料館共同研究(令和6～8年度)

テーマ「一関藩田村家を中心とした近世前期公武文化圏に関する地域連携的研究」

## V 大槻家資料保存活用事業

令和5年に重要文化財の指定を受けた大槻家関係資料について、修復、研究、公開を計画的に実施するもの。

令和8年度は、資料の修復と研究報告会の開催を計画

## VI 広報活動

- ・年間行事予定表の公開・配布
- ・市広報「博物館だより」コーナーによる情報の発信
- ・一関市博物館ホームページの随時更新による最新情報の提供
- ・一関市ホームページ「イベントカレンダー」による情報の提供
- ・各報道機関へのプレスリリース等
- ・図書館のモニターやデジタルサイネージを利用した情報発信

- ・市公式フェイスブックによる情報発信
- ・各種情報誌への掲載

## Ⅶ その他

- ・スマートフォン等のアプリケーション「ポケット学芸員」を利用した展示ガイド
- ・設備改修等に伴う臨時休館（期間調整中）